

# 春の全国交通安全運動

入学・入園を迎えるこの時期は、こどもの関係する交通事故が増加する傾向にあります。こどもたちに交通社会の一員としての自覚と基本的な交通ルールやマナーを身に付けさせるなど、県民一人一人が交通ルールの遵守と交通マナーを実践し、交通事故を防止しましょう。

## 運動の重点目標

- ① こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
- ② 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
- ③ 自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守
- ④ 「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」社会環境の醸成 千葉県独自

## 教育・保育関係の先生方へ

◆ **安全教育**…安全に横断歩道を利用するため、こどもたちにお伝えください。

- ① 「横断歩道を渡る・信号を守る」などの基本的な交通ルールを守る
- ② 横断の際は ・「手を挙げる、運転者に顔を向ける」など横断の意思表示をする  
・「安全を確認してから横断する、横断中も周りに気を付ける」などよく確認する



◆ **八街市立朝陽小学校の取組例（千葉県通学路推進事業（令和4年度））**

専門家による交通安全教室等を積極的に取り入れ、児童、保護者や教職員が一体となり、“チーム朝陽小学校”で安全安心な学校へと日々アップデートするべく尽力している。

**研究主題** 危険を予測し、自ら回避できる思考力・判断力をもった安全な未来をつくることのできる子どもの育成

### 主な取組内容

- ① **校内安全ステッカーの作成**  
生活委員会の児童たちが、30近くの候補から2つのデザインを採用。ステッカーを校舎内の危険箇所に貼り、安全性を高めていく。
- ② **校内の道路化計画**  
右側歩行を意識づけるため、廊下や階段の中央にテープを貼り、視覚化した。
- ③ **コーナーガードの設置**  
怪我のリスクが下がるよう、固い角にコーナーガード(柔らかいスポンジ)を設置した。
- ④ **危険の箇所の視覚化**  
校内に入る車と児童が歩行する場所とを区分するため、また、児童が走らないで移動することを意識づけるため、学校職員とPTA、児童の協力のもと、敷地内にペンキでグリーンベルトを設置した。



◆ **教員・従業員の皆様向け交通安全教室**

職員研修などで交通安全教室を開く際は、是非、千葉県交通安全教育推進員を御活用ください。

◆ **保護者の方との連携**

御家庭で交通安全について話し合うきっかけなどとして、学校等で「思いやり交通千葉」や啓発チラシ等の配布を御検討される場合、県くらし安全推進課までお気軽に御相談ください。

## 保護者の皆様へ

**送迎の際は、大人もヘルメット着用**

自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約6割が頭部に致命傷を負っています(H30～R4年合計)。

自分の命を守るためにも、送迎の際などは大人もヘルメットを着用しましょう。



**横断歩道は歩行者優先**

車の運転では、急いでいる時でも、横断歩道手前では一息おいて、歩行者がいたら一時停止しましょう。



# 思いやり交通千葉

県内の交通事故	
発生件数	956件 (-97件)
死者数	10人 (-5人)
負傷者数	1,149人 (-117人)
死者全国ワースト4位 令和6年1月末時点 (前年比)	

1月末現在の確定値です。最新の件数については、千葉県警ホームページにて公表しています。

第188号 発行：千葉県環境生活部くらし安全推進課 電話 043(223)2263 FAX 043(221)2969

挙げる手を やさしく見守る 横断歩道

## みんなで交通ルールを守ろう！ 一人一人の心がけて交通事故をゼロにしよう

自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行



こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践

## 令和6年4月6日(土)～4月15日(月) 春の全国交通安全運動

4月10日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です



内閣府